

【問 3】 正（○） 誤（×）を判断し，誤りなら理由を簡単に記載し，併せて内容や授業等の感想を記載

- 1 【 】 既存の楽曲をその著作権者に無断で編曲した場合，その編曲された楽曲は，二次的著作物として保護されない。
- 2 【 】 小説を点字に変換した文書は，一般に，小説の二次的著作物に該当する。
- 3 【 】 甲が作曲した楽曲を乙が無断で編曲することは，甲の著作者人格権の侵害となることがある。
- 4 【 】 甲と乙との共同著作物について，丙がこれを翻案することは，丙が乙から同意を得ていたときには，甲の同一性保持権を侵害しない。
- 5 【 】 甲が書いた小説を，翻訳家をめざす学生乙が翻訳し，その翻訳物に原著作物として甲の氏名を表示しないことは，乙がその翻訳物を自己の家族である丙以外には見せなかったとしても，甲の氏名表示権を侵害する。
- 6 【 】 二次的著作物であるためには，その元になったものも著作物でなくてはならない。
- 7 【 】 編集著作物であるためには，その構成要素となる素材も著作物でなくてはならない。
- 8 【 】 データベースの著作物であるためには，その構成要素となる情報も著作物でなくてはならない。
- 9 【 】 映画の著作物には，映画の効果に類似する視覚的又は視聴覚的效果を生じさせる方法で表現され，かつ，物に固定されている著作物は含まれない。
- 10 【 】 思想又は感情を創作的に表現したものであって，学術の範囲に属するものは著作物に含まれる。

感 想：